

第2次名張市ばりばり食育推進計画に係る 「令和5年度の取組」及び 「令和6年度の計画」について



令和5年度の取組

朝食

毎日の離乳食作りがラクになる!!がんばりすぎない離乳食教室

食育講座親子で簡単!子どもが喜ぶ朝食メニュー

名張市子ども・地域食堂活動懇談会

学校・幼保施設の食育担当者を対象とした食育実践交流会

まちじゅう元気!!!リーダー
フォローアップ研修

共食(トモシヨク)

地元の「食」を生かした商品開発・
なばりのお菓子の魅力発信

ばりっこクッキングコンテスト

地産地消

子どもたちと生産者の方の笑顔が
つながる「ばりっ子」給食の実施

有機農業産地づくりの推進

地域特産物の育成

令和6年度の取組

毎日の離乳食作りがラクになる！！がんばりすぎない離乳食教室

- 令和6年2月17日に、子どもの発達及び発育に合わせた離乳食の進め方を、調理実習を通して学び、離乳食を楽しく進めるための教室を開催しました。また、保護者が交流できる場を提供することにより、保護者同士がつながりを持つ機会としました。参加者は7組10人で、野菜たっぷり白身魚のみそ汁を調理し、大人用の食事から取り分けて離乳食にする方法を実習しました。夫婦での参加も多く、「楽しく簡単に作ることができた」との意見がありました。



食育講座親子で簡単！子どもが喜ぶ朝食メニュー

- 令和5年9月9日に「親子で簡単！子どもが喜ぶ朝食メニュー」をテーマに食育講座を開催しました。7組17人の参加者が「イングリッシュマフィンサンド」「サラダ」「野菜のポトフ」等を調理し、試食を行いました。参加した父親からは「はじめて子どもと一緒に料理をする機会になった」という声がありました。また、子どもからは「自分で料理した野菜は食べるとおいしかった」と声がありました。朝食を食べることの大切さについての説明もあり、参加者からは「今回の朝食レシピをまた家庭でも作りたい」という声が聞かれました。



名張市子ども・地域食堂活動懇談会

- 子ども食堂及び地域食堂は、成り立ちや運営形態、コンセプトなどが各運営団体によって違っており、団体間の連絡体制がなく、つながりが薄かったため、子ども食堂と地域食堂、市、社会福祉協議会による懇談会を令和5年度に初めて開催しました。
- この懇談会によって、市民の方から市に提供を受けた食材などの分配や、情報の共有を図るための連絡体制を構築しました。



子ども家庭室

学校・幼保施設の食育担当者を対象とした食育実践交流会

- 令和6年2月2日に、学校、幼保施設の食育担当者を対象とした食育実践交流会を開催し、47人の参加がありました。地域や各種団体との連携を基にした取組や、連携の工夫、家庭への朝食の必要性の啓発について情報交換を行い、各学校、幼保施設の取組に反映していく機会としました。
- 名張市の食育推進の状況等について、美旗小学校の食文化や地域食材を生かした食育の取組、みはた虹の丘こども園の地域との連携を生かした食育の取組から学ぶとともに、各学校と幼保施設が実践を交流する場を設定し、担当者同士による熱心な議論が行われました。



子どもたちと生産者の方の笑顔がつながる「バリっ子給食」の実施

- 地場産物を学校給食の食材に活用した「バリっ子給食」を月2回以上実施しました。給食の時間には担任や給食委員から名張産の食材の話やクイズなどを行うことにより地場産物への理解を深めました。
- 教室では、「この〇〇（野菜）おいしい」といった声がいつもより多く聞かれました。また、生産者の方からは、子どもたちがおいしいと言って食べてくれると、野菜を作る励みになるといった声もいただいています。



有機農業産地づくりの推進

- 「地元有機農産物を使った「食」が楽しめる名張」を目指し、生産者実態調査、消費者意識調査、有機農業基礎研修等を行いながら、学校給食での試行的活用・食育、飲食店等での試行提供、オーガニックマルシェの開催など、今後の有機農産物の生産、販路及び消費の拡大につなげる取組を進めました。



地域特産物の育成

- タネ菜の生産者が庁舎1階でレシピ紹介を行いながら販売を実施し、PRに努めました。また、万博首長連合主催の万博弁当プロジェクト第2弾でタネ菜が採用され、全国各地の自慢の産品と一つの弁当となり、万博の機運醸成の促進とともに地域の魅力として発信されました。
- 山椒の生産、販路及び消費の拡大に向け、市内事業者には山椒を活用したメニュー等の開発に取り組んでいただきました。



地元の「食」を生かした商品開発・なばりのお菓子の魅力発信

- 三重県立名張高等学校が実施しました『なばりの「食」に関する取組』に対して支援を行いました。
- 総合ビジネス系列ビジネス専攻の2年生が地元の「食」を生かした商品開発として、青蓮寺で作られたぶどうを使った商品を企画し、市内のカフェなどの協力を得て商品化しました。また、その商品を街道市と三重県産業教育フェアで販売しました。
- 文理アドバンス系列人文専攻の2年生（有志）が、初瀬街道となばりのお菓子の魅力を伝えるリーフレットを作成し、「名張のお菓子でおもてなし条例」や「なばりでお菓子屋さんめぐり」など、なばりのお菓子の魅力を発信しました。



ばりっこクッキングコンテスト

- 令和5年11月5日に、普段家で食べているメニューを知ること、食への関心、興味、食品ロス削減意識の向上につながるきっかけとなることを目的として、市内の小学生を対象に名張近鉄ガス株式会社の主催によりばりっこクッキングコンテストが開催されました。このイベントでは、事前に小学生が考えたメニューを主催側が審査し、審査の結果、残ったメニューの作成者と保護者がペアとなって実際にそのメニューを作るというものです。いずれの作品も素晴らしく、明日から真似できるメニューばかりでした。



目標値

目標値

項目		策定時 (平成30年度)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	目標値 (令和6年度)
①	朝食を毎日食べている児童の割合（小学6年生対象） 「全国学力・学習状況調査」朝食を「毎日食べている」「どちらかといえば食べている」と回答した割合	93.3%	95.3%	92.5%	95.4%	95.0%	95.1%	97.0%
	朝食を毎日食べている生徒の割合（中学3年生対象） 「全国学力・学習状況調査」朝食を「毎日食べている」「どちらかといえば食べている」と回答した割合	92.0%	96.1%	91.8%	93.0%	92.0%	92.1%	97.0%
②	学校給食における名張産食材を使用する割合 「学校給食における地場産物活用状況調査」食材数ベース	20.8%	23.7%	23.7%	23.3%	20.2%	23.3%	30.0%
③	児童生徒の肥満傾向児の割合 「学校健康状態調査」肥満度20%以上の児童生徒の割合	7.9%	8.4%	8.7%	8.9%	9.7%	9.4%	6.0%
④	40歳以上の肥満者の割合 名張市国民健康保険被保険者のうち40歳以上75歳未満の人が特定健康診査を受診しBMIが25%以上の人の割合	26.2%	27.6%	28.1%	29.3%	27.5%	27.1%	20.0%
⑤	特定健康診査受診率（国民健康保険） 【データヘルス計画】名張市国民健康保険被保険者のうち40歳以上75歳未満の人が特定健康診査を受診した割合	42.4%	43.1%	43.3%	43.9%	44.1%	42.6%	60.0%
⑥	健康な暮らしを送っていると感じている市民の割合 【市民意識調査】	77.8%	81.6%	81.5%	81.7%	82.0%	80.0%	83.0% ※（令和4年度）
⑦	名張の農産物（米・果樹・野菜等）の消費量や知名度が高まっていると感じる市民の割合 【市民意識調査】	46.6%	42.4%	43.8%	42.1%	43.3%	—	47.3% ※（令和4年度）
	参考） 名張市の農産物を消費している市民の割合（地産地消の割合）					68.1%	66.3%	73.8% ※（令和8年度）

※目標値は、総合計画で設定する目標値・目標年度を設定しています。